

2020年8月26日

BioPBS™ 使用の生分解性樹脂ジッパー、“OK Compost”認証取得

三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカル株式会社(本社:東京都千代田区、社長:和賀 昌之、以下「当社」)は、タキロンシーアイ株式会社(本社:大阪府大阪市、社長:齋藤 一也、以下「タキロンシーアイ」)が当社の生分解性樹脂 BioPBS™ を用いて開発したジッパーにおいて、ヨーロッパの生分解性製品の認証機関である TÜV AUSTRIA 社の認証“OK Compost”の認証を取得しましたのでお知らせします。

BioPBS™ は、当社が開発、基本特許を有し、当社とタイ PTT Global Chemical 社が折半出資する PTT MCC Biochem Company Limited が製造する植物由来の生分解性樹脂で、自然界の微生物によって水と二酸化炭素に分解されるため、自然環境への負荷が少ない樹脂素材です。また、他の生分解性樹脂に比べ、低温ヒートシーラ性・耐熱性・柔軟性などで優れた性能を有しています。

このたび、タキロンシーアイが長年培ってきたジッパーの製造技術により、BioPBS™ を用いた生分解性ジッパーの開発に成功しました。また、ジッパーのような厚みのある製品では取得が難しいとされているヨーロッパの生分解性製品の認証機関である TÜV AUSTRIA 社の“OK Compost”の認証を取得しました。

プラスチックごみ問題への対策が求められていることを背景に、食品のパッケージ等に使用される包装材料は、従来の非生分解性の樹脂から生分解性のある素材への代替需要が高まっています。今回開発したジッパーは、BioPBS™ の柔軟性とタキロンシーアイの成型加工技術により、生分解性を有しながら多様な再開閉ニーズに応えることが可能です。今後は菓子やコーヒー豆、ドライフルーツ等の食品用パッケージや衣料用パッケージ等、幅広い用途に展開してまいります。

当社は、三菱ケミカルホールディングスグループが掲げる「KAITEKI※」の実現に向け、今後も BioPBS™ をはじめとする生分解性樹脂や植物由来樹脂の研究開発・用途展開を加速させ、サーキュラーエコノミー(循環型社会)の構築や SDGs の達成に貢献していきます。

※ 三菱ケミカルホールディングスグループのオリジナルコンセプトで、「人、社会、そして地球の心地よさがずっと続いていくこと」を表します。



タキロンシーアイ製 ジッパー写真



認証マーク

以上

お問合せ先
株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室
TEL 03-6748-7140